

緊急地震速報講演会アンケート

以下のアンケートにご協力をお願い致します。記入欄が足りない場合は、裏面もお使いください。
なお、アンケートは、講演会終了後、ホール出口に設置しているアンケート回収箱にお入れください。

1. 年齢層について

- ①20 歳未満 ②20 歳代 ③30 歳代 ④40 歳代 ⑤50 歳代 ⑥60 歳代 ⑦70 歳以上

2. 職業等について

- ①会社 ②官庁・公共機関等 ③学校・教育機関 ④その他()

3. この講演会をどこで知りましたか

- ①気象庁 HP ②気象業務支援センターHP ③緊急地震速報利用者協議会 HP・メール
④ポスター・チラシ ⑤その他()

4. 講演時間について

- ①短い ②やや短い ③適当 ④やや長い ⑤長い

5. 今回の講演会でいちばんご関心を持った演題について

- ①緊急地震速報の現状とこれからの取り組み ②緊急地震速報と大都市の地震対策
③緊急地震速報の利用実態と課題
(選択した理由をお書きください)

6. 今回の講演会について構成・内容等総合的にどのくらい満足していますか

- ①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満
(選択した理由をお書きください)

7. 緊急地震速報に関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

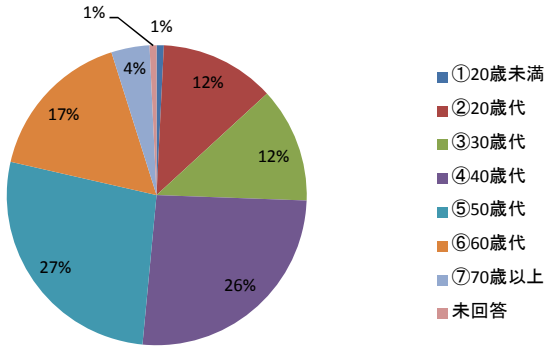
ご協力いただき、ありがとうございました。

緊急地震速報講演会アンケート

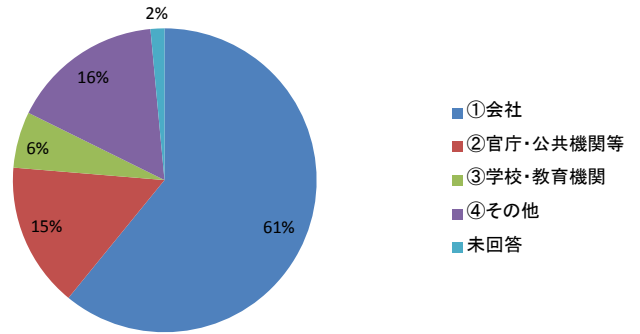
回答数 266

1. 年齢層について	①20歳未満	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳以上	未回答
	2	33	33	69	72	44	11	2
2. 職業等について	①会社	②官庁・公共機関等	③学校・教育機関	④その他	未回答	その他		
	162	41	16	43	4	学生4、自営業、自治会役員、主婦、無職		
3. この講演会をどこで知りましたか	①気象庁HP	②気象業務支援センターHP	③緊急地震速報利用者協議会	④ポスター・チラシ	⑤その他	未回答	その他	
	75	5	54	61	55	16	会社(上司、案内)知人、防災士会、図書館、新聞、東京都防災ツイッター、消防署イベント、ラジオFM立川	
4. 講演時間について	①短い	②やや短い	③適当	④やや長い	⑤長い	未回答		
	5	11	204	22	1	23		
5. 今回の講演会でいちばんご関心を持った演題について	①緊急地震速報の現状とこれからの取り組み	②緊急地震速報と大都市の地震対策	③緊急地震速報の利用実態と課題	①②③すべて	未回答			
	22	188	39	4	13			
6. 今回の講演会について構成・内容等総合的にどのくらい満足していますか	①満足	②やや満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤不満	未回答		
	118	111	20	8	0	9		

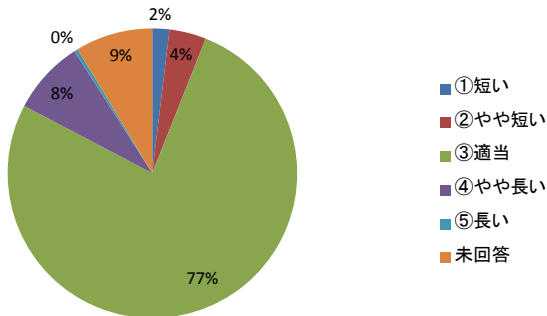
年齢層について



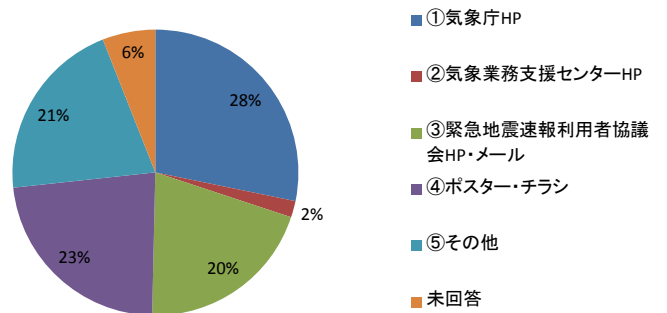
職業について



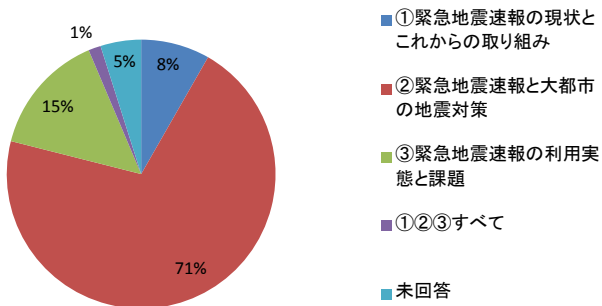
講演時間について



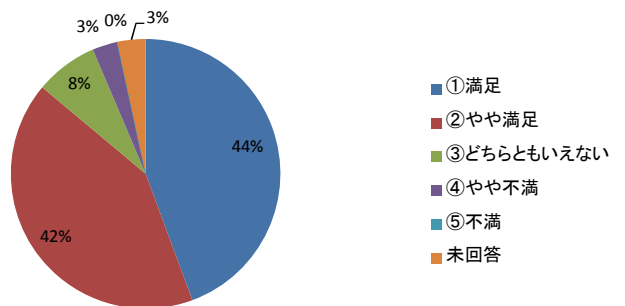
この講演をどこで知りましたか



今回の講演会でいちばんご関心を持った演題について



今回の講演会について構成・内容等総合的にどのくらい満足していますか



5. 今回の講演会でいちばんご関心を持った演題について

①緊急地震速報の現状とこれからの取り組み

- ・時間や震度の精度(現状)や、長周期の地震について興味深かった為。
- ・今までの取り組みが大事であると思う。
- ・業務上において利用する機会が多いため。

②緊急地震速報と大都市の地震対策

- ・機器及び速報は進んでるが人側が対応していない事を感じた。
- ・映像と講演の内容がわかりやすかった。
- ・ひきつけられる圧倒的の話し術、臨場感。
- ・緊急地震速報がどれだけ対応。
- ・巨大地震を想定した備えが必要から。
- ・演題が身近だった。
- ・現状の建築物について話しが良かった。
- ・考え方がわかりやすく、面白かった。
- ・メディアでは使われないシーン等見ることができた。
- ・緊急地震速報が必要ということを明確に述べてくれるものであった。
- ・居住地が都市部であること。
- ・長周基地震速報の有用性が実感しながら理解できた。
- ・首都圏直下型への対応。
- ・地盤と被害、建物の構造などの説明が具体的でわかりやすかった。
- ・出身の地域が山と海に囲まれてるが防災対策が少なく、都市といなかの違いはあるが危機感を持った。
- ・会社や自宅での対策の不十分さを感じた。
- ・専門家の地震時の対応が意外だった。
- ・対策のポイントを抑えていた。
- ・忘れていた地震対策を思い出させてくれた。
- ・南海トラフ地震対策。
- ・理系的な視点からお話し頂けたため普段とは違う視点で考えさせられたから。
- ・超高層ビルと低層建物との緊急地震速報のとらえ方の違いについて。
- ・防災訓練に活用したい。
- ・首都圏直下地震対策業務に携わっているため。
- ・建築基準法をスタートすると見誤まるというのにハッとしたから。
- ・個別対策ではなく総合対策の必要性が客観的にわかった。
- ・経済優先の東京に警告してくれています。

③緊急地震速報の利用実態と課題

- ・活用方法を考えることが今もっとも必要なことかと気付いたから。
- ・利用方法の興味があった。
- ・普段思考してゆくとは別のプロセスで地震、EEWを考えさせられた。
- ・近いうちに必ず地震が来るだろうから。
- ・対応行動についてより詳しく分解されたお話しが面白かった。
- ・一般市民が緊急地震速報に何を求めているかよくわかった。
- ・建物への地震設計置を普及させたい、高度利用につなげたい。
- ・行動について、思い当たることがあったから。
- ・一番身近な疑問のため。
- ・業務上どう自分の事としてとらえるか日々考えているため。

その他ご意見

- ・今後の緊急地震速報の取り組みがよくわかった。
- ・すべて興味があった、職場で防災担当しており、11/5の避難行動も検討している。
- ・いずれも関心があり都市部での地震対策や緊急地震速報の利用実態。

6. 今回の講演会について構成・内容等総合的にどのくらい満足していますか

①満足

- ・現状がよく理解できた。
- ・速報の利活用について改めて知る良い機会となった。
- ・それぞれに素晴らしい講演だった、講演資料が充実していればより良かった。
- ・通常のビジネスとは別の分野、視野、視点でEEWを語っていたから。
- ・三様の視点から話しがあり構成は良かった。
- ・時間が短くもっと話しを聞きたかった。
- ・専門的な内容は初めて聞いた。
- ・今後に役立つ。
- ・笑いもありデータもあり考え方の発見もあったから。
- ・地域の防災に役立つ内容があり参考になった。
- ・メディアで伝えられ方や、市場にてオブラートにかけられている事を教えてもらった。
- ・大変わかりやすい話でした。
- ・地震の際の行動について考えさせられた。
- ・自然災害への対応行動に活かしていきたい。
- ・緊急地震速報について良くわかった。
- ・研究者の生の話が聞けたこと。
- ・利点・欠点の両面からの解析が参考になった。
- ・緊急地震速報の内容、課題、どのような対応をとるべきなのか理解できた。
- ・根拠をしっかりと示し次の行動を惹き起こさせる為の話の仕方が感動的だった。
- ・専門的かつ横断的な内容だった、研究者はすごいと思った。
- ・具体的で実践的 但し、前座の長話は不要。
- ・新しい取組みについて知ることが出来た。
- ・地震に対する行動、意識を見直す良い機会となった。
- ・講師のラインアップが多様かつ適切、VTRも多く聞き手を飽きさせないよいイベントだったと思います。
- ・建築工学的な話や通信伝送、伝達の技術的進化の地震時の火災についての対応の話。
- ・このような機会を多く作って頂けたらと思います。
- ・研究している方の話は興味深い、知らないことが多い。
- ・緊急地震速報の内容、課題、どのような対応をとるべきなのか理解できた。
- ・福和伸夫先生を知れただけで十分満足できた。
- ・普段聞けない内容の話を一般の人間も聞く事ができる会を嬉しく思います。
- ・身近な内容で興味が持てた。
- ・改めて減災と防災への意識の低さを再認識出来た。

②やや満足

- ・講演中の資料が手元があれば良かった。
- ・普段聞けない内容で良かった。
- ・もっと十分な時間を確保するか時間に見合った内容で講演した方がよい。
- ・時間が短い。
- ・名古屋大学の先生のお話がおもしろかった。命を守るためにもっと個人で出来ることも知りたかった。
- ・質疑応答の時間もほしかった。
- ・具体的かつ理解しやすい講演内容だった。
- ・さらに深く聞いてみたいと思う。
- ・来るべき南海トラフや首都直下地震がもうすぐ来ると言われている昨今大地震の備えに関心や注目が集まっているのでタイミングが良い。
- ・わかりやすく説明していただいた。
- ・これまでの現状と今後の可能性についてよく理解できた。もう少し活用についての話を期待していた為②とした。
- ・緊急地震速報で新たに導入される手法について、もう少し詳しく知りたかった。
- ・各講師が現状について報告された為。
- ・興味深い話が聞けた。
- ・専門家の話は為になる。
- ・生方のフリートーク、ディスカッション等あればさらに良かったと思います。
- ・具体的な課題解決等。
- ・都市型の具体的な危険性を再認識させられた。
- ・先生方の講演はもう少し長くてもよいと感じた。
- ・どう使っていくか参考になった。
- ・第一線の方々の講演を聞いたので。
- ・大変わかりやすい、映像資料が豊富。
- ・大都市の長周期地震の影響がわかりやすかった。

③どちらともいえない

- ・内容と満足度が異なった。
- ・業者による実践的事例紹介をしてほしい。
- ・レビューはできたか、会社や個人での普及が大事では。
- ・緊急地震速報の限界を感じているが、予想通り限界は改善されてないと思った。
- ・時間が不足している。
- ・緊急地震速報の現状は分かった、これからについて具体的な提言が少ない。

④やや不満

- ・講演間に休憩を入れるべきでは。
- ・パワーポイントが見えにくかった。
- ・結論が当たり前レベルのことで今さら聞いてと思いましたが次回に期待。
- ・スクリーンの資料ぐらい準備すべき。
- ・講演資料を入手したい。

その他

- ・緊急地震速報が発令された後の対応の準備の必要性を理解。
- ・演題②は満足、①③はどちらともいえない。

7. 緊急地震速報に関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください

- ・これからも継続したPRをお願い致します。
- ・利活用の推進を今後も進めていってください。
- ・著作権の問題もあるかも知れませんがHPで本日の資料を公開して欲しい
できれば事業者が営業かける資料として使いたいから。
- ・講演を聞いて実行に移すべきであるか、聞いただけに終わってしまうことが多い。
これからは少しでも良いと思ったら即実行に移せるよう心掛けたい。
- ・一層の発展が必要。
- ・動画があるとわかりやすかった。
- ・途中休憩があるとよい、竹橋からだ場所がわかりにくい。
- ・これからも精度向上に取り組んでいただきたい。
- ・誤報や空ぶり等の経験から、さらなる発展を望みます。私の命是非守ってくださいませ。
- ・荒谷講師が使っていた資料は気象庁HPに出してほしい。
認知度で××を知らなかった、〇〇は知っていた・・・と話したが
その項目を書きとめられず、どの範囲迄誤差があるのか把握しないと。
- ・より正確で！より早く！をお願いします。首都圏直下での地震に効果を出していただきたい。
- ・どの講演も興味深く、分かりやすく、勉強になりました。
いろいろと考え直すきっかけになりそうです。
- ・緊急地震速報という情報を受ける人間の心理行動を促す方が重要。
情報→認識→判断→行動 情報は与えられるもの、行動は自ら促すもの。
- ・定期的に講演会を開催してほしい。誤報を恐れず命を守るため発報してほしい。
- ・緊急地震速報のしくみ(ロジック)についての講演会をやってほしい。
学校や企業に上の講演会をやってほしい。
- ・電車に乗っていた時、携帯の緊急地震速報が鳴る前に電車が止まりました。すごいことだと感心しました。
- ・揺れの強さとブザー音の組み合わせなど、今回の講演では3人の先生方の討論を設けるなど、
せめて1時～4時30分まで時間を拡大して再度伺いたい。ありがとうございました。
- ・駅、ビルのロビー等では即放送すべき！
- ・福和先生の話をもっと聞きたかった。
- ・小中学校への普及、及び訓練の充実を早期に進めるべき。
11/5の緊急地震速報の訓練に関する情報が不十分である、マスコミを通じてもっと発進すべきだと思う。
- ・システム開発に従事されている研究者の方の話を直接聞くことが出来て良かった。
システムとしてはこれからより良くなっていくと思うが1番の問題は受け取る側の行動であると思った。
- ・一市民としてPRを受ける機会が少ないのでは？要PRの必要性あり。
- ・2011年電車内で一斉に鳴ったのは困った。
- ・11/5防災の日の訓練参加方法がHPを見てもよくわからない。
携帯を持っていたら鳴るかなど、せつかくの訓練なので多くの人が参加できると良いと思う。
今週はリスコンも開催しておりますが、震災に備える大切さを感じました。また是非参加したいです。
- ・メディア側からの話が聞きたい。
- ・講演中にPCを打つ音がうるさかった。使わないようにする方が良いと思う。
- ・どのぐらいの時間でくるのか速報内容に入れてほしい、第1速報、第2速報とか出来るとよい。
- ・気象庁の説明は簡単にしてほしい、これから何が可能か具体例が示せれば良い。
講演要旨があればありがたい。
- ・一般の人にもっと普及活動を行った方が国民の防災、減災意識の向上につながると思いました。
- ・速報を受け取った後の対応行動などが重要でそれぞれの場面、場所、時間帯などで個人が理解している事が重要。

- ・東日本大震災では有効に活用させていただいた。
山形市内にて車から降りた時に速報がそれにより心の準備と次への行動が適切に図れたと思っている。
- ・講演中のノート・PC利用が気になった、利用方法の取り決めが必要かと思えます。
- ・今回のような講演会をネット中継してほしい。
- ・名古屋の先生はどなたも東京に批判的、名古屋の危険性の方が高いと思うのだが、他人事の方が多い。
- ・国が推進、高度化、対策にお手をつけるべき。
- ・応急対応に対する適切な対応方法について教示願いたい。
- ・消防におります、消防用設備とリンクしてほしい。特に非常放送が自動起動するようになってほしい。
学校、幼稚園などは特に、費用がかかるので文部省とも上手くやりくりして補助してもらえないか。
- ・緊急地震速報だけではなく一般も取り交せて専門的な講話と併せてわかりやすいパンフレット等の資料、
(事後利用しやすい1枚もの)配布もあれば嬉しい。
- ・緊急地震速報の普及はやはり具体的にできることを示したり、宣伝するとよい。
現在の不備がとて多い、特にビルでの耐震性を考えて自動化を考えてほしい
- ・速報の認知の為に1年に1度ぐらいは全国民を対象とした訓練(携帯メールなど)があっても良いと思う。
自分達の安全の為の情報であれば自然相手なので空振りとかでも良いと思う。
- ・本日の講演を元に職場での具体的な利活用について検討する事としたい。
- ・完全・完璧なものではないことを広く一般国民に繰り返しテレビ・ネット、
小中学校の先生へに啓発などを通じて知らせていただきたい。
- ・緊急地震速報の限界もしっかり周知する必要があると思いました。
- ・NHKタイプの速報をTVを消してもつけて表示させる、
あるいはスマホの画面に表示させつつ音を出してなど、NHKだけでやっているのはダメだと思う。
- ・気象庁も含めさまざまな有用な情報発信に努めているが国民側がそれを使いこなせてない気がする。
どうすれば今ある有用な情報を十全に活用できるかを考える必要がある
- ・車や鉄道にも標準装備すると被害を少なくすることになるのでは。
- ・普及のため定期的に初心者向け講座を開催してもらいたい、初めて担当する人もおり底辺を広げる必要がある。
- ・緊急地震速報を利活用したシステム対策をセミナーに含めてください、自動化システムの課題と応用など。
- ・地元の地域の緊急地震速報についてTVやラジオは鳴っても携帯はメールの受信したりしなかったりの時がある。
- ・福和先生がおっしゃるように、確実に必要な情報であると思う。しかしそのことが気象庁から主張されていない。
誤報の恐れがあることを出しすぎている、本当に必要な時に本当に役立つということが分かってもらえなくなる。
いつまでもこのままでは一生懸命やってきた事業者も体力的に耐えられなくなってしまう。気象庁は本気で啓もうを！
- ・緊急ではなく常時の地震を解釈データではなく、
地震波そのものを震源データと共にインターネットで任意日時に任意の人がキャッチ出来るシステムは不可能でしょうか？
- ・本会場の避難経路の案内、非常口の案内をすべき、休憩時間を設定すべき。
- ・ワンアクションしかとれない、とるべきをもう少し普及してほしい。
- ・講演②と③はほぼ同じ内容になってしまう。
利用者協議会のメーカーの受信端末、携帯スマホ等最新機器等の発表、展示もほしい。
- ・発信することでの具体的な仕組み、発信タイミングなど技術的な事をわかりやすく説明することも必要です。
- ・緊急地震速報を聞いた時の人間の動きはやはり「机の下にもぐる」などのワンパターンになりがちで、
企業は特にBCPと関連して運用方法を考えているので今後は利活用に関するお話が多いと嬉しいです。
- ・講演のデジメがほしかった。
- ・すでに弊社では大使館やインターナショナルスクール、大学(留学生が多いところ)などに英語版を導入しています。
羽田空港インターナショナルターミナルにも英語・中国語等独自アナウンスを流しています。
今さら英語・多言語という考え方は遅すぎる気もしますがどんどんやってもらいたいです。
高度利用型の周知をもっとしてほしいです。